

管内	地区名	学校名	校長名	研究主題
県中	常葉地区	常葉町立		一人一人の実践意欲を高める道徳教育
		常葉小学校	大和田 徳 作	
		西向小学校	深 谷 喜三郎	
		関本小学校	幕 岩 田 且 夫	
		山根中学校	岩 田 光 親	
常葉中学校	渡 辺 一三郎			
いわき	いわき地区	いわき市立		道徳的心情を深め、実践意欲を高める道徳教育
		上遠野小学校	小 宅 博	
		入遠野小学校	秋 山 芳 郎	
		上遠野中学校	猪 狩 福 秀	
		入遠野中学校	熊 谷 文 彦	

② 発表会

常葉地区 昭和51年11月16日

いわき地区 昭和51年10月25日

2 生徒指導

〔義務教育課〕

生徒指導は、すべての児童生徒を対象とし、一人一人の人格の価値を尊重し、個性・能力の伸長を図りながら、同時に社会的・国民的な資質や行動を高めることを目的として、次の諸点に重点をおいて指導した。

- 教師の共通理解を深め、指導体制を確立する。
- 実態に即した指導計画に改善する。
- 生徒理解をいっそう充実させる。
- 教育相談を計画的に実施する。
- 学業指導を充実する。
- 進路指導を充実する。
- 家庭、関係機関、関係団体との連絡を密にし、非行の予防指導を徹底する。

以上の重点事項を促進するため、次の事業を実施し、その効果を高めるよう努力した。

(1) 生徒指導委員の設置

各教育事務所の生徒指導活動を援助し、管内小・中学校における生徒指導の改善・充実を図るため、生徒指導委員17名を委嘱した。

管内	地区	勤務校	職名	氏名	
県北	福島市町村 国白沢	信白	夫北	中中	教諭 武藤 藤原 健平
		信白	岩	中中	教諭 武藤 藤原 壯
県中	郡山市市村 須賀川引	郡須賀	山三	中中	教諭 佐藤 藤津 進信
		郡須賀	川二	中中	教諭 佐藤 藤津 正高
県南	大棚信倉村 信倉	信夫	一倉	小中	教諭 小佐 針川 信善
		信夫	倉	中中	教諭 小佐 針川 喜雄
会津	磐梯町市 喜多方郷	磐喜	梯一	中中	教諭 遠藤 藤山 信徳
		磐喜	多郷	中中	教諭 遠藤 藤山 男美
南会津	下郷町	檜原	小	教諭 五十嵐 完逸	
相双	原町市 富岡	石富	神一	中中	教諭 太田 昭二
		石富	岡	中中	教諭 太田 橋喜代太郎
いわき	いわき市 いわき市	内湯	郷二	中小	教諭 鈴木 木 亀郎
		内湯	本三	中小	教諭 鈴木 木 康美

(2) 文部省指定生徒指導研究推進校の研究と実践

文部省指定による生徒指導研究推進校は、それぞれ意欲的な研究を進め、優れた実績をおさめた。

① 岩瀬村立岩瀬中学校

- 指 定 昭和50年度から（県指定を兼ねる。）
- 研究主題 一人一人の実践意欲を高める生徒指導

② 田島町立荒海中学校

- 指 定 昭和51年度から
- 研究主題 実践意欲を育てる生徒指導

——とくに学級指導を中心として——

(3) 県指定生徒指導研究学校の研究と実践

生徒指導充実強化のため、次の学校を指定し、研究成果を他校に普及することによって、多大の成果をおさめた。

① 岩瀬村立岩瀬中学校（文部省指定を兼ねる。）

(4) 生徒指導委員連絡協議会の開催

当面する生徒指導上の諸問題について、研究協議を行うとともに、生徒指導委員の研修を深め、共通理解に立った県内の生徒指導を進めるために開催した。

期 日	場 所	対 象
昭和51年 4月21日	福大附属小	生徒指導委員17名
昭和51年11月 1日	県 庁	生徒指導委員17名

〔高等学校教育課〕

生徒一人一人に生活の目標を持たせ、生徒の社会的自己実現を援助するために、個性に即した生徒指導の徹底を図った。

- 生徒指導についての共通理解の深化
- 地域ぐるみの生徒指導の推進
- 各教科以外の教育活動の充実
- 教育相談の実践的な研究の推進

(1) 生徒指導主事活動

県内6地区に各1名駐在する生徒指導主事の活動によって、高等学校における生徒指導の充実を図った。

生徒指導主事の服務は、福島県教育委員会訓令第6号に定められており、主な活動は次のとおりである。

- ① 地区内高等学校の訪問指導（計画、随時）
- ② 生徒指導研究学校の指導
- ③ 地区内高等学校生活指導協議会への援助
- ④ 関係諸機関、団体との連携
- ⑤ 生徒指導関係の情報と資料の提供

その他、生徒指導主事が参加する行事は、生徒指導講座教科外活動講習会、生徒指導担当者研究協議会などである。

(2) 中学校・高等学校生徒指導講座

① 目 的

中学校及び高等学校における生徒指導に関する基本的問題についての研修を行い、生徒指導の充実を図る。

- ② 主 催 文部省、福島県教育委員会
- ③ 期 日 8月23日(月)～8月28日(土)
- ④ 会 場 福島県教育センター
- ⑤ 受講者数 中学校29名、高等学校30名

(3) 教科外教育活動